

# 外科医療

2026年  
4月  
倶知安で始まる

この春から常勤の外科医が着任！  
倶知安での外科手術が充実します

ニセコ羊蹄広域倶知安厚生病院 外科 山本 康弘 医師

当院の外科外来は 2020 年から出張医が担当してきましたが、今年 4 月より山本康弘先生が常勤医として着任。消化器疾患の多くは地元で手術が可能になります。

#### Profile

北海道士別市生まれ。1986（昭和 61）年、旭川医科大学卒業後、同大外科学第二講座に入局。国立札幌病院麻酔科研修を経て、旭川厚生病院、国立療養所道北病院（現：旭川医療センター）、日鋼記念病院などの外科に勤務。1993（平成 5）年より旭川医科大学附属病院第 2 外科に所属。長く小林病院（北見市）の外科部長を務め、臨床の現場で後進の育成に努めてきた。1996（平成 8）年、博士号取得。

- 日本外科学会 専門医・指導医
- 日本消化器病学会 専門医・指導医
- 日本消化器外科学会 専門医・指導医
- 日本大腸肛門病学会 専門医・指導医



Q 倶知安厚生病院に着任した経緯は？

A 若手ドクターと共に新体制を整えます

これまでオホーツク地域の中核基幹病院である北見市の小林病院（病床数 300 床）で 27 年間、外科の診療にあたってきました。今回、旭川医大から若手ドクターの指導役として倶知安厚生病院への赴任を依頼されてお引き受けしました。今後、大学の医局から若手医師がローテーションで外科に派遣される予定です。総合診療科や内科、地域のクリニックとも連携しながら、私の経験や技術を伝えつつ後進を育てていきたいと考えています。

Q どんな病気が地元で治療できるようになりますか？

A 虫垂炎や鼠径ヘルニアなどの一般的な外科治療はもとより胆嚢や大腸の腹腔鏡や肛門の手術です

体への負担が少ない腹腔鏡の手術は、都市部の病院に行かなくても地元で受けることができます。さらに高齢の女性に多い直腸脱は従来、肛門から縫い縮める手術でしたが再発率が高いのが難点でした。しかし腹腔鏡で直腸を吊り上げて骨盤に固定する「直腸固定術」だと、傷も少なく根治が可能です。腹腔鏡手術以外であれば痔核（いば痔）は切らずに注射で治療するジオン四段階注射も選択できます。大腸や肛門で気になる症状があれば、お気軽に相談ください。

山本先生に外科診療についてお聞きしました

Q 先生の専門は？

A 消化器外科で、大腸や肛門が専門です

これまで胃がん、食道がん、大腸がん、肝臓・胆嚢・膵臓がんなどの手術をはじめ、抗がん剤治療などの化学療法も数多く手掛けてきました。なかでも私は下部消化管が専門で小腸や大腸以外にも、痔核や直腸脱など肛門外科に力を入れて取り組んできました。また一般的に消化器外科の医師は乳腺疾患の手術を担うことも多いため、場合によっては乳がんなどの手術などもお力になれば、と思っています。

Q 抱負をお願いします

A 地域医療は私の原点。力を尽くします

私は小学 4 年のときに NHK の「フライングドクター」という番組で、セスナに乗ってアフリカの村を飛び回り医療活動を行う日本人医師に憧れて医者を目指しました。ですから地域医療は私の原点でもあります。

患者さんから「先生に診てもらいたい」「先生に手術してもらえてよかった」と言われるような医者でありたいと思ってこれまでずっとやってきましたが、倶知安でも患者さんやご家族に喜んでいただける医療を提供したいと思っています。



2024 年 11 月の新棟オープンに合わせて「ニセコ羊蹄広域 倶知安厚生病院」に改称。2026 年 8 月末には外構工事を終えて全面オープンの予定です。